

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
第18回(2022年)みはら区民まつり		みはら区民まつり実行委員会					
事業目的	事業効果	活動指標 ※令和2年度は中止	R1	R3	R4		
美原区域の住民・団体の協働による事業を通じて、区域住民の自主的なまちづくり事業への参加意識を高めるとともに、相互の交流と親睦を深め、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	区域住民自らが企画・運営に参加することにより、区域の一層の連帯と交流を深め、明るく、住みよい、活気と愛着あるまちづくりを推進するとともに、住民が主体的に行うまちづくりのための人材育成が期待できる。	来場者数(人)	10,000	35,000 ※総動画視聴回数	12,000		
		主催者側(模擬店・ステージ・サポートスタッフ等)の参加人数(人)	1,287	470 ※オンライン開催	844		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	本事業は、区民と行政の協働により実施されており、区域住民の自主的なまちづくり事業への参加意識や連帯感の醸成を図ることを目的としている。	○	校区自治連合会と区役所により構成される実行委員会により、区民と協働で企画・運営している。財源についても、市負担金のほか、校区自治連合会の負担金、区内の企業等からの協賛金、賞品提供などの事業協力を得ており、美原区が一体となる事業である。	○	各校区自治連合会や、区内で活動する団体が各々に趣向を凝らしたステージプログラムや模擬店を展開している。	◎	事業実施に伴う支出については、その目的、必要性及び効果を実行委員会で諮り、予算を効率的に執行している。また、特設Webサイトや、SNSを活用し、開催内容等の情報を、その都度発信することができている。
⑤自立発展性	総合評価						
—	本事業は、行政と連携することで、各種関係団体との連絡調整など、円滑な運営を行っている。区民の自主的な活動・取組が求められるものは、積極的にその促進を図っている。	◎	実行委員会を中心に、模擬店、ステージ及びサポートの各部会が連携し、企画・運営を行い、区民との協働事業が効果的に実施されている。今年度は、3年ぶりとなる現地開催で、コロナ禍による飲食の制限等はあったものの多数の来場者で賑わった。特別企画として、美原区と隣接する4市(松原市、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市)が特産品を販売する「南河内交流フェス」を開催し、交流を深める機会を創出した。また、会場周辺に同時期にオープンした「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」とは、周辺道路の車両誘導や来場者の安全確保の観点から、警察との協議を含め連携して準備・運営を進めた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	美原区の一大会事として定着しており、区民から実施を期待されるイベントとなっている。次年度については、コロナ前のように模擬店における飲食提供の再開が見込まれることから、一層の来場者増加が予想される。また、会場となる区役所周辺は開発が進み、周辺道路の交通量が増大する中、来場者や参加者の安全確保が最重要課題となっている。						